

# 耐震診断結果の見方

- 公表されている建築物の「耐震診断の方法の名称」について、「技術的助言 別表」の中から同じものを探す
- 公表されている建築物の「・・・安全性の評価の結果」に記載の数値を、「技術的助言 別表」の で見つけた「耐震診断の方法」の行に対応する欄（ 、 、 ）のなかで、あてはまる欄を見つける。

別表 1、2 の構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性については、震度 6 強から 7 に達する程度の大規模の地震に対する安全性を示すものとされています。なお、いずれの区分に該当する場合であっても、違法に建築されたものや劣化が放置されたものでない限りは、震度 5 強程度の中規模地震に対しては損傷が生ずるおそれは少なく、倒壊するおそれはないとされています。

要安全確認計画記載建築物(特定緊急輸送道路沿道建築物)の診断結果の公表

[平成30年3月29日公表]  
[平成30年〇月〇更新]

・建築物の耐震改修の促進に関する法律第9条の規定に基づき、耐震診断の結果を公表します。  
・「耐震診断の方法の名称」や「地震に対する安全性の評価」については、「耐震診断結果の見方」を参照してください。

No.	建築物の名称		建築物の位置	建築物の用途	耐震診断の方法の名称	構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性の評価結果				耐震改修等の予定	備考
						IS/ISO	1.23	CTU・SD	0.52		
11	〇〇ビル	1~4階	世田谷〇〇1-1-1	駐車場事務所共同住宅	5-6 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	IS/ISO	1.23	CTU・SD	0.52		
		5~12階、PH			4-1 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第1次診断法」により想定する地震動に対して所要の耐震性を確保していることを確認する方法	IS/ISO	1.09	-	-		
2	〇〇マンション	地下1	世田谷〇〇1-2-3	共同住宅	5-6 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	IS/ISO	0.56	CTU・SD	0.55		
		1~5階			5-3 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO	0.88	CTU・SD	0.42		
3	ハイツ〇〇	1~10階	世田谷〇〇4-5-6	共同住宅店舗事務所	5-5 一般財団法人日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(1997年版)	改修工事中					
4											

## 技術的助言

別表 2

耐震診断の方法		構造耐力上主要な部分の地震に対する安全性		
		(地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が高い。)	(地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性がある。)	(地震の振動及び衝撃に対して倒壊し、又は崩壊する危険性が低い。)
(1)	「公立学校施設に係る大規模地震対策関係法令及び地震防災対策関係法令の運用細目」(昭和 55 年 7 月 23 日付 け文管助第 217 号文部大臣裁定)	IS < 0.3 又は q < 0.5	左右以外の場合	0.6 IS かつ 1.0 q
・	・	・	・	・
(5-3)	一般財団法人 日本建築防災協会による「既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2001年版)	IS/ISO < 0.5 又は CTU・SD < 0.15・Z・G・U	左右以外の場合	11.0 IS/ISO かつ 0.3・Z・G・U CTU・SD
・	・	・	・	・
(5-6)	一般財団法人 日本建築防災協会による「既存鉄骨鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準」に定める「第2次診断法」(2009年版)	鉄骨が充腹材の場合	IS/ISO < 0.5 又は CTU・SD < 0.125・Z・Rt・G・U	左右以外の場合 1.0 IS/ISO かつ 0.25・Z・Rt・G・U CTU・SD
		鉄骨が非充腹材の場合	IS/ISO < 0.5 又は CTU・SD < 0.14・Z・Rt・G・U	左右以外の場合 1.0 IS/ISO かつ 0.28・Z・Rt・G・U CTU・SD